

記入例

を申請します。

たり必要な場合は、丹波市
及び認定に必要な関係機関から

裏面「申請者（保護者）氏名」

・「口座名義人」と同一人物に
統一してください。

住民登録に関す
ることを承諾します。

令和 7 年 2 月 5 日

〒 669-3131

申請者（保護者）住 所 丹波市

山南町谷川1110

※アパートの号室まで記入してください。

丹波市立小中学校に通学されているお
子さんのお名前を記入してください。
学年は来年度の学年です。
この春に小学校に入学されるお子さん
も記入してください。

保護者氏名

丹波 一郎

(※)

(※)本人が署名(手書き)の場合、押印はいりません。署名(手書き)しない場合、押印してください。

連絡先電話番号

0795 - 70 - 0880

※携帯番号等の屋間に連絡がとれる電話番号を記入してください。

児童福祉援助認定申請書兼世帯票 (期間：令和7年4月から令和7年8月まで)

① 児童 氏名等 ※令和7年4月1日現在の在籍予定学校・学年を記入ください。

学 名	学年	生年月日	氏 名 (フリガナ)
〇〇中 学校	3 年	H22・8・16	丹波 太郎 (タンバ タロウ)
〇〇小 学校	4 年	H27・4・8	丹波 花子 (タンバ ハナコ)
〇〇小 学校	1 年	H30・11・16	丹波 市子 (タンバ イチコ)
学校	年	・ ・	()

② 世帯状況 (生計同一及び同居の世帯員全員を記入してください。)

※注意 ①に記入した児童生徒は記入しないでください。児童生徒からみた続柄を記入ください。

世帯員氏名	続柄	生年月日	年齢	収入の有無	勤務先・学校名等
丹波 一郎	父	S56・4・6	43歳	有・無	〇〇△会社
丹波 市代	母	S60・10・3	39歳	有・無	□△〇ストア
丹波 五郎	祖父	S26・6・7	74歳	有・無	無 職
				有・無	
				有・無	

生計同一及び同じ住所にお住いの方全
員を記入してください。
①に記入した小中学校のお子さんは記
入しないでください。

③ 申請理由 (経緯を具体的に書いてください。)

昨年末から給料が減給し・・・・・・・・

④ 申請該当項目(当てはまる項目にチェック☑をして下さい)

添付書類(具体的な証明書類(例))

☐ (1) 生活保護法に基づく保護費の受給	※閲覧承諾により受給状況の確認をする為、 不要
☐ (2) ア 児童扶養手当法に基づく児童扶養手当の受給	※閲覧承諾により受給状況の確認をする為、 不要
☒ イ 保護者の収入が不安定等により、家計の状態が 良くない方	※令和6年1月2日以降に丹波市に転入され た方は下記の書類が必要です。 《令和7年8月までの申請》 令和6年度(令和5年分所得)所得証明書 ※世帯内全員の証明書を添付ください。所得の無い方も証 明書が必要です。(所得のない学生は不要です。)
☐ ウ その他経済的理由によって就学が困難となる特 別な事情がある場合	※教育総務課 学事係までご相談ください。

該当する項目にチェック☑をして下さい。

(裏面に続く)

誓約書及び委任状

- ・ 就学援助費の請求に関する権限を、児童生徒が在籍する学校長を代理人と定め委任いたします。
なお、学校諸費の未納があった場合、上記の学校長への委任に基づき、市が就学援助費を学校長口座に振込し、学校長が学校諸経費に充当することに同意し、一切異議を申し立てません。
- ・ 就学援助費は支給目的以外のことに使用しません。
- ・ 就学援助申請書の記載内容に変更が生じた場合は、学校を通じて丹波市教育委員会に速やかに届け出ます。
- ・ 就学援助費を公正かつ効果的に使用しない場合は、市が就学援助費を学校長口座に振込し、学校長が学校諸経費に充当することに同意し、一切異議を申し立てません。
- ・ 就学援助費の支給において、過誤支払が生じた場合は返還請求を行います。

申請者(保護者)氏名 **丹波 一郎** 印 (※)
※本人が署名(手書き)の場合、押印はいりません。署名(手書き)しない場合、押印してください。

振込金融機関	銀行		フリガナ		
	信用金庫		口座名義人		
	農協		タンバ イチロウ		
	〇〇〇		丹波 一郎		
本店・支店		出張所			
預金種別		口座番号(右詰め)		口座名義人の生年月日	
普通・当座		1 0 2 0 3 0 4		S・H 55 年 4 月 6 日	

- ・ 上記保護者の本人名義の口座を記入してください。
- ・ 昨年度以前に就学援助を受けていた場合は、同じ口座を指定してください。
- ・ 生年月日は、同姓同名者との判別のために登録しますので、必ず記入してください。

※以下、申請者の方は記入しないでください。

校長所見（該当項目が「イ」の場合のみ、詳細に記入してください）	
校長	印

- ・ 児童生徒が小学校と中学校ともに就学している場合は、小学校長が所見を記載すること。

審査結果	4月当初認定 ・ 不認定 ・ 途中認定（ 月 日～）
不認定理由	所得超過により不認定 ・ その他（ ）
認定取消日	
認定取消理由	児童扶養手当（資格喪失・全額停止） ・ 転出 ・ その他（ ）
その他	世帯員数（ ）人 / 所得合計（ ）